

日野町議会第4回定例会会議録

令和8年1月臨時会議

令和8年1月26日

開議 9時09分

散会 11時03分

1. 出席議員（14名）

1番	錦戸由佳	8番	山本秀喜
2番	福永晃仁	9番	高橋源三郎
3番	谷口智哉	10番	加藤和幸
4番	松田洋子	11番	後藤勇樹
5番	柚木記久雄	12番	中西佳子
6番	川東昭男	13番	西澤正治
7番	野矢貴之	14番	杉浦和人

2. 欠席、遅刻、途中退席および早退議員

なし

3. 会議録署名議員

1番	錦戸由佳	12番	中西佳子
----	------	-----	------

4. 地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名（22名）

町長	堀江和博	副町長	安田尚司
教育長	安田寛次	政策監	河野隆浩
総務主監	吉澤利夫	厚生主監	山田甚吉
産業建設主監	柴田和英	教育次長	正木博之
税務課長	杉村光司	企画振興課長	大西敏幸
交通環境政策課長	小島勝	住民課長	増田武司
福祉保健課長	福田文彦	福祉保健課地域共生担当課長	芝雅宏
子ども支援課長	森弘一郎	農林課長	吉村俊哲
建設計画課長	杉本伸一	上下水道課長	嶋村和典
会計管理者	三浦美奈	学校教育課不登校対応担当課長	赤尾宗一
生涯学習課長	加納治夫	生涯学習課歴史文化財担当課長	岡井健司

5. 事務のため出席した者の職氏名（2名）

議会事務局長 園 城 久 志 議会事務局書記 藤 澤 絵里菜

6. 議事日程

- 日程第 1 会議録署名議員の指名について
" 2 会議期間の決定について
" 3 議第94号 令和7年度日野町一般会計補正予算（第7号）
" 4 報第10号 専決処分の報告について（令和7年度日野町一般会計補正予算（第6号））

会議の概要

－開議 9時09分－

議長（杉浦和人君） 皆さん、おはようございます。全員ご起立をお願いします。

一同礼。

－起立・礼－

議長（杉浦和人君） ご着席下さい。

これより令和7年日野町議会第4回定例会令和8年1月臨時会議を開会いたします。

ただいまの出席議員は全員であります。定足数に達しておりますので、これより本日の会議を開きます。

ここで、町長より発言を求められておりますので、これを許可いたします。

町長。

町長（堀江和博君） 皆様、おはようございます。

令和8年1月臨時会議の開会にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、公私ともご多忙の中、本日の臨時会議にご参集を賜りまして、厚く御礼を申し上げます。年初より精力的にご活動いただいておりますことに深く感謝と敬意を表する次第でございます。

季節は大寒を過ぎ、1年で最も寒さが厳しい時期を迎えております。22日には大雪警報が発令され、当町でも10センチを超える積雪となり、また、この日曜日、また、本日も含めまして、雪が続いております。この間、日野町建設工業会の皆様による除雪作業等により、大きな事故もなく過ごすことができております。この場をお借りしまして、各関係の皆様には感謝を申し上げます。

また、明日は衆議院議員総選挙の公示日でございます。この間の準備にあたりましては、選挙管理委員会の皆様はじめ各関係の皆様には大変ご尽力を頂き、感謝を申し上げます。そして、この限られた時間の中、総務課をはじめ役場職員も大変頑張ってくれているところでございます。適切に選挙が執行されるよう努めてまいりますので、議員各位のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、現在、住民生活を取り巻く環境は、年明け以降もエネルギー価格や食料品の高騰などにより厳しい状況が続いております。町といたしましては物価高騰に直面する皆様への支援を早急に行う必要があると考え、本日、臨時会議をお願いした次第でございます。

今回の案件は補正予算1件と報告1件でございます。提出案件につきましてご理解を頂き、十分にご審議の上、ご賛同を賜りますよう心よりお願いを申し上げます。開会のご挨拶とさせていただきます。

議長（杉浦和人君） 本日の議事日程は、お手元へ配付のとおりであります。

日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

本会議の会議録署名議員は、会議規則第118条の規定により、1番、錦戸由佳君、12番、中西佳子を指名いたします。

日程第2 会議期間の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本臨時会議の会議期間は本日1日といたしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

－異 議 な し－

議長（杉浦和人君） ご異議なしと認めます。

よって、本臨時会議の会議期間は本日1日と決定いたしました。

日程第3 議第94号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第7号）についてを議題とし、町長の提案理由の説明を求めます。

併せて、日程第4 報第10号、専決処分の報告について（令和7年度日野町一般会計補正予算（第6号））についても町長の報告を求めます。

町長。

町長（堀江和博君） それでは、提案理由の説明をさせていただきます。

日程第3 議第94号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第7号）。

本案につきましては、第1条のとおり、日野町一般会計予算総額に歳入歳出それぞれ5億4,505万6,000円を追加し、予算の総額を117億3,596万3,000円とするものでございます。

今回の補正予算は、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等を活用し、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受ける生活者等への支援や、物価高騰の影響が長期化し、その影響を強く受けている子育て世帯への支援を実施するとともに、防災・減災・国土強靱化を推進するための公共事業に要する経費など、早期の対応を要する事業について、所要の予算措置を講じております。

それでは、詳細をご説明いたします。

お手元の議案、議第94号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第7号）に添付しております歳入歳出補正予算事項別明細書をご覧ください。

説明にあたりましては、右側のページで申し上げます。まず、9ページの歳入についてご説明いたします。

第15款・国庫支出金につきましては、物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金等を新規計上するほか、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金および社会資本整備総合交付金（防災・安全）等を増額補正する一方、交通安全対策補助金（通学路緊急対策）を減額補正しております。

次に、第19款・繰入金につきましては、財政調整基金繰入金を増額補正しており

ます。

次に、第22款・町債につきましては、社会資本整備総合交付金事業（防災・安全）等の事業費の増額に伴い、防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債を新規計上する一方、公共事業等債（交通安全対策事業（通学路緊急対策））を減額補正しております。

続きまして、11ページからの歳出について説明いたします。

まず、第3款・民生費につきましては、医療・介護・保育施設等物価高騰対策支援事業におきまして、エネルギー・食料品価格等の物価高による影響を踏まえ、社会福祉施設等の経済的負担の軽減および経営の安定化を図るため、必要となる補助金を新規計上するほか、物価高対応子育て応援手当支給事業におきまして、物価高の影響が及ぶ中、特にその影響を強く受けている子育て世帯を支援し、子どもたちの健やかな成長を応援する観点から、0歳から高校3年生年代の子どもを養育する保護者に対し、子ども1人当たり2万円を支給するための経費を新規計上しております。

次に、第7款・商工費につきましては、地域経済緊急支援事業におきまして、物価高の影響に対する住民支援と地域経済の活性化に資するため、町民1人当たり9,000円の日野町暮らし応援クーポン券を配布するとともに、日野町商業協同組合が実施するポイントカード事業への補助金を増額補正しております。

次に、第8款・土木費につきましては、道路メンテナンス補助事業および社会資本整備総合交付金事業ならびに社会資本整備総合交付金事業（防災・安全）におきまして、国の補正予算に伴う内示があったことから、必要となる経費を計上する一方、交通安全対策事業（通学路緊急対策）におきまして、国の内示に伴う事業費の精査により減額補正をしております。

12ページからは給与費明細書などの附属書類でございます。

それでは、予算書に戻らせていただきます。

第2条の繰越明許費の補正につきましては、4ページの第2表 繰越明許費補正のとおり、物価高対応子育て応援手当支給事業をはじめ6件について翌年度へ繰越しを行い、予算を執行するものでございます。

第3条の地方債の補正につきましては、5ページの第3表 地方債補正のとおり、防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債（道路メンテナンス補助事業）をはじめ3件の追加を計上するほか、1件の変更を行うものでございます。

以上、令和7年度日野町一般会計補正予算（第7号）の提案説明といたします。ご審議のほどよろしくお願いいたします。

日程第4 報第10号、専決処分の報告について（令和7年度日野町一般会計補正予算（第6号））。

本件は、令和8年2月8日に執行予定であります衆議院議員総選挙の経費について速やかに予算措置を講ずる必要があったことから、地方自治法第180条第1項の規定により、議会において指定されている事項について専決処分したので、同条第2項の規定により報告させていただくものです。

第1条のとおり、日野町一般会計予算総額に歳入歳出それぞれ1,770万6,000円を追加し、予算の総額を111億9,090万7,000円としたものでございます。

それでは、詳細を説明いたします。

専第1号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第6号）に添付しております歳入歳出補正予算事項別明細書をご覧ください。

まず、7ページの歳入でございます。第16款・県支出金につきまして、衆議院議員総選挙委託金など1,770万6,000円を新規計上しております。

9ページの歳出では、第2款・総務費の会計年度任用職員人件費（衆議院議員選挙費）および衆議院議員選挙費につきまして、1,770万6,000円を新規計上しております。

10ページからは給与費明細書などの附属書類でございます。

以上、報告をさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

議長（杉浦和人君） 以上で、提案理由の説明および報告を終わります。

ここで暫時休憩いたします。

—休憩 9時20分—

—再開 10時20分—

議長（杉浦和人君） それでは再開いたします。

休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程第3 議第94号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第7号）についてを議題とし、これより質疑に入ります。

また、日程第4 報第10号、専決処分の報告について（令和7年度日野町一般会計補正予算（第6号））についても質疑を許可いたします。

質疑はございませんか。

2番、福永晃仁君。

2番（福永晃仁君） それでは私のほうから、議第94号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第7号）から1つご質問をさせていただきたいというふうに思っております。1つということでは言わせていただいたんですけども、ちょっと全体に絡むことでもあるので、少し抽象的なるかもしれませんが、お答えいただきたいと思っております。

今回この議案が出てきて、昨年度の令和6年度2月補正と内容をもう一度振り返ってみました。国の重点支援地方交付金がこの時期にいろんな判断が下されるとい

うことで、昨年も補正予算ということで幾つか議案のほうが出ていたというふうに思っています。昨年度に関しては、低所得世帯の支援、それから推進事業メニューということで国のほうから一定の指示が出ていたと。それになぞらえて、特に住民税の非課税世帯の方に昨年度は支援が1つ行っていたかなというふうに思っております。

今年度を見ていましたら、医療・介護・保育施設等物価高騰対策支援事業、それから地域経済緊急支援事業、それから物価高騰対策、これは別メニューですけども、子育て応援手当支給事業という形で大きく町は打ち出されております。

この中で、国の重点推奨の事業メニューが幾つか挙げています。1つは食料品の物価高騰、それから物価高騰に伴う低所得者世帯・高齢者世帯の支援、それから子育て世帯、それから消費の下支え、それから最後、省エネ家電等への対策ということで、生活者支援は5つ出ているんですけども、昨年度は別メニューで国のほうから指示がありました、住民税非課税世帯の方への支援なんですけども、今年度、この大きく3つのメニューにされた一番大きなところ、その狙いをお聞かせいただきたいと思っております。

それからもう1つ、この住民税の非課税世帯の方が今回に関しては、他のメニューで重なってくるところもあると思うんですけど、特別な支援が出ないというふうなところで、どういったふうに認識されているかなというところで、その2つ、またお聞かせいただきたいと思っております。

議長（杉浦和人君） 2番、福永晃仁君の質問に対する当局の答弁を求めます。

総務主監。

総務主監（吉澤利夫君） ただいま、議第94号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第7号）について質問を頂きました。

議員おっしゃいますように、令和6年度の補正予算におきましては、この重点支援地方交付金につきましては、いわゆる低所得者世帯支援枠と推奨事業枠がございまして、低所得者世帯への支援として特に国のほうから枠組みがされて、それを市町村のほうで実施させていただいているところとございまして、日野町も同様にさせていただいたと、こういうところとございます。

今年度とございますけども、今年度は国からのこういった支援枠というのは今回は示されておりませんで、推奨事業メニューということで、今、議員が例示いただきましたような形で何点かの例示がされております。

この中でございますけども、日野町につきましては、この交付金の用途につきましては各課のほうに照会をかけさせていただきまして、その中で最も効果が高いであろうという形の中で議論を深めまして、今回提案させていただいている予算にさせていただいて、より迅速にかつ広く効果が見えるような形ということで一定整理

をさせていただいて、今回、補正予算の提案をさせていただいているものでございます。

当然ながら、低所得者へということでピンポイントでの施策ということは今回はございませんけども、広く住民ということでこちら辺の一定の効果は見えてくるのかなと、このように思っておりますので、よろしく願いいたします。

議長（杉浦和人君） 福永晃仁君。

2番（福永晃仁君） 主監のほうから答弁いただきました。当然、去年はそういった指示といいますか、そういった基準の枠の中で最大限効果が得られるようにと、地域の実情をということで、その点は十分理解できます。

今、各課で精査されて、全体最適を見ながらというふうなご答弁やったんですけども、これ例えば、やはり、去年は頂けていて今年頂けないというふうなところに対して、一住民さんがやはり継続的に、給付の難しいところは、ずっと継続的には予算がやっぱり限られていますので難しいと思うんですけども、やはり昨年そういった国からのメニューが出てきて、国の指示が出たので町がやってるってとこまではなかなか住民さん、やっぱり議会でしか分かりにくいところかなと思いますが、逆に再質問させていただきたいのが、ある意味この低所得者世帯、高齢者世帯の方がやはりかなり生活が厳しいというふうなところで、子育て世代に関しては私たちも含めて非常にありがたいなと思うんですけども、やはり昨年出ていたようなメニューが今年はないのかなというふうなところでいくと、住民感情としてもそういったところが見えにくくなるかなと思うんですが、逆に一般財源を少し考慮したところでそういったところの補填を考えられた経緯があるのかないか聞かせていただきたいと思います。

議長（杉浦和人君） 総務主監。

総務主監（吉澤利夫君） 福永議員から再質問を頂きました。低所得者層、また、子育て世帯等への今回の交付金を、重点支援地方交付金を使ってそういう事業を組めなかったのかと、こういうご質問やったと思います。

今回につきましては、いわゆる国のほうの経済対策ということで、喫緊の課題やということで財源のほうは交付されているものですので、そういった趣旨に基づきましてその部分はしっかり前面に出して、その部分につきましては緊急に取り組むべき必要があるであろうというふうな施策を一定、町で整理させていただいたところでございます。

そういった、昨年と今年での当然、差というのがございますし、そういった部分が住民さんには見えないところはございますけども、足りない部分につきましては一般施策等でございますので、そういうところで措置も今後検討する余地はあろうかなと思いますが、今回のこの交付金に関してはそのような、国による強い経済対

策の意向を踏まえたということでご理解いただきたいなと思います。

議長（杉浦和人君） ほかに質疑ございせんか。

3番、谷口智哉君。

3番（谷口智哉君） 私からも、議第94号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第7号）の地域経済緊急支援事業1億8,274万円について質疑させていただきます。

今、福永議員からは総論というような形で、その中で吉澤主監から、最も効果が高い方法であるというような答弁を頂きました。もう少し掘り下げた内容のほうを私から質問させていただきたいなと思います。

今回、日野町くらし応援クーポン券ということで町民当たり9,000円という予算でされているということだったんですが、そののさらに詳しい内訳というか内容と、その方法が日野町にとって最善であると判断した理由を教えてください。

議長（杉浦和人君） 3番、谷口智哉君の質問に対する当局の答弁を求めます。

産業建設主監。

産業建設主監（柴田和英君） ただいま谷口議員のほうから、議第94号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第7号）の商工費の地域経済緊急支援事業の日野町くらし応援クーポン事業委託業務につきましてご質問を頂きました。

クーポン券の9,000円に至った経緯と詳しい内訳、それとまた、最善であると考えた理由につきましてご質問を頂いたところでございます。

まず、クーポン券の内訳といたしましては、9,000円のクーポン券を、2種類ございまして、まずは大型店、チェーン店、地元事業所など町内の取扱店であればどこでも使える全店共通利用券が5,000円ということで、1枚500円のクーポンが10枚ついております。もう1つの種類は地元事業所のみ利用ということで、それが4,000円ということで、500円のクーポン券が8枚ということでございます。

まず、1,000円ごとのお買物につきまして500円のクーポンが1枚利用可能ということでございます。過去の実績等も踏まえまして、より広い層に使いやすいということで、大型店も含めた、そういった全店共通が5,000円。それから、やはり地元の経済循環、事業所の下支えということも含めた地元のみ利用が4,000円というような内容で考えております。

これに至った経緯ということでございますが、当町としましても、今の物価高騰の影響を受けている町民の事業者に対し、また、住民生活の支援や日野町内の消費喚起、そして下支え、地域内の経済循環を図るということを大きな目標としまして、また、これは日野町中小企業・小規模企業振興基本条例に基づく、中小企業・小規模企業が地域の経済や雇用を支える担い手として、町民も一緒になって協力していく、それが維持・発展に重要な役割を果たしていくというような、そういった基本条例に基づいた形で今回のクーポン事業を実施したところでございます。

議長（杉浦和人君） 谷口智哉君。

3番（谷口智哉君） 今回の答弁の中で、非常に日野町が大事にしているものを表したのが今回のクーポンの事業なのかなと思いました。やはり報道の中では現金で給付するであったり、全国的な報道ではお米券にするというようなことがありましたけど、以前、町長が12月議会の最後のほうでも、日野町にはお米があるので、それ以外で効果のある方法をとっていたのが、今思い出してもそういうような形で表れたのかなと思いました。

ただ、今回の報道、12月ぐらいからの報道を受けながら町民さんにいろんな話を聞いたときに、今まで行ってきたクーポン事業の中でも、やっぱりふだん行かない店に行くのは、クーポンがあるからといって行くというのが非常に行きづらいよな、やっぱり現金のほうが使いやすいよなというような声があったり、とある有名な店舗一択やなとかというようなことと、それが、今、答弁にあったような地域経済の下支えとして連鎖で動いているということが非常に見にくかったなというのが私自身感じたことです。

そして、日野町第6次総合計画の中に、11番、中小・小規模企業支援というのがあって、その中の目指す姿が「地元企業が持続的に発展し、地域内経済循環の中で多様な創業と事業承継があり、地域経済の活力あふれるまち」と。その中の基本施策2の中に「イベント等を通して企業のPRに取り組み、地域内経済循環を促進します」とあります。

このような総合計画から見るとしても、やはりクーポン券と、今までの町民さんの意見も併せると、まだ少し対応というのが足りない部分があるのではないのかなと思っています。

そこで、役場の仕事としては、もちろんこういった仕組みを考えて委託するというのもあるんですが、特に今、日野町では大型店舗が立て続けに閉店するという中、また、新しい大型店舗も進出するという話ももちろん出ていますし、その中で、地元商店に対してお客さんを誘導するというのも町の役割としては大事なものだと思っています。

やっぱり若い世代でも地元の店舗に行くのは入りづらいというようなことも意見として聞いたので、そういったのを今回クーポン券の事業としてどういうふうに対応していくのか、お考えがあるのであれば伺いたいです。

議長（杉浦和人君） 産業建設主監。

産業建設主監（柴田和英君） ただいま谷口議員のほうから再質問を頂きました。

町民の皆さんにとってこのクーポン事業がいかに身近に使いやすくなるものになるにはということで、いろいろご指摘、ご提案も頂いているところでございます。我々としましても、理念としては地元の商店の活性化、それから、地域の中で使っ

ていただくことによる経済循環によって大きな経済効果を生むというところを非常に大事なポイントとして今回のクーポン事業を提案させていただきました。

そういったところで、住民にとってより使いやすいというところであれば、やはり地元の事業所に、店舗にたくさん利用していただきたいというところが大事でございますが、様々、日用品の食料品等もございまして、両方使えるという形で町民の皆さんに選択肢を広げるというところも一方で考えさせていただいて、共通券と地元利用券のセットというところで提案させていただきました。

議員がご指摘いただいたように、若い層にどれだけ浸透していくのかというところには、本当に今回の形が適切かどうかというところも我々も考えているところでございます。若い層が地元で買物をしやすいようにということで、前回の反省点でいきますと、なかなかやっぱりふだん買物に行かないところに行くのが敷居が高いというか入りづらいというのがありますし、そもそもこの店がクーポン使えるのかどうかというところもありまして、その辺の少しハードルを下げるという意味でも、やはり機運の醸成とこの店が加盟店であるということ、もちろん最初の発送のときに加盟店一覧をつけて見てもらうんですけども、期間がたつごとにどこが加盟店か分からないというところもあるので、今回は啓発の例えばのぼり旗とか広報の充実とかというところをより推進していきたいというふうに考えております。

SNSの進展に伴いまして、商工会のほうでもフェイスブックとかインスタグラムとかそういうので発信しているんですが、なかなかまだまだその浸透は至っていないと。言えば、商工会と商店がSNSでつながりながら、いろんな店舗独自の取組とか特典とかいうのを若い人にも見られるというふうになれば、より行きやすいというふうにはなるんですが、まだこれから、そこは整備が十分というか進展していないところもございまして、今後の課題として考えながら、利用しやすい工夫を商工会とも連携しながら進めていきたいというふうに考えております。

議長（杉浦和人君） 谷口智哉君。

3番（谷口智哉君） 今、主監からフェイスブックやインスタグラムという言葉が出ました。もう質問はないんですが、最近、最近というかここ1年、私のインスタグラムでもr e l a yさんの事業承継の広告がよく上がってきます。事業承継、年始の挨拶でも商工会長がおっしゃっていました。去年も今年も事業承継に力を入れていくというようなことをおっしゃっていましたが、そういったものがよくよく上がってきます。

また、2か月ほど前からは、とある商店の、必佐にある商店さんが、この投稿に「いいね」が100件あったら総菜を半額にするキャンペーン、チャレンジみたいのをするのも上がってきています。

そういったことで、のぼりを立てるのは非常に刷り込みにもなりますし、消費の

喚起にもつながると思います。ただ、若い世代というのはやはりデジタルで流れてくる、大量に流れてくる情報の中で刷り込まれる部分もあると思いますので、そのところも支援していただけるとありがたいなと思っています。よろしくお願ひします。

議長（杉浦和人君） ほかに質疑ございせんか。

8番、山本秀喜君。

8番（山本秀喜君） 私のほうから、議第94号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第7号）について、歳入の面で、財政面から見たら今年度どのようになっているのかということも含めて、細かくは4点になりますけど、それと歳出のほうで1点、質疑をさせていただきます。

令和7年度補正予算（第7号）の8ページ、9ページをまず見ていただきたいと思ひます。

歳入のところの15款・国庫支出金の説明欄を見ていただいたら、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金約2億円、それから物価高対応子育て応援手当支給事業費補助金約6,400万円、それから社会資本整備総合交付金で7,500万円、防災・安全で7,000万円と、大きく国の補正予算が執行されること、今の物価高で暮らしが大変な中、このように支えとなるということと、また、ちょうど西大路鎌掛線の道路改良工事が少しでも早く進むということになって、大変ありがたく思っております。

今回新たに社会資本整備総合交付金の件、議長からも伺ってはありますが、今回7,500万円追加補正が得られたということについての経緯を教えてくださいたいと思ひます。

その下、19款の繰入金で、財政調整基金繰入金、約2億8,000万円となっています。いつも年度末に3月末の補正で繰戻しをされて、トータルでは基金そのままの状態、今、12億円ぐらいで推移していますが、そのまままた繰戻しできるものなのか、いや、今年度は繰入れたままになるのか、その点どのように推移するのか教えてくださいたいと思ひます。

それと、基金を含めた繰入金の計のところ、4億1,200万円となっています。これは基金からの繰入れもあって事業を進めていくということもあり、繰入金の合計はこういうふうになっているんですけども、令和7年度の基金の積立額としては、ここから見ると減る傾向になるのかなというふうに思いますが、私は以前、基金についても、計画的に積み立ててはどうですかという提案もさせていただいているんですけど、どのように基金の推移をするのかということも、どうお考えされているのかということをお聞きしたいと思ひます。

その下、22款の町債のところ、土木債が計3億6,740万円、計のところを見ますと4億3,690万円となっています。交付金と起債の活用によって道路建設など

が進むことで、うまく有利な起債を使ってされていくことをありがたく思っているんですが、起債については後年度の元利償還金の一部が地方交付税の算定の計算に入るといったことなので、中には交付税の算定率が高い起債も、探せばより有利になるということも以前聞いております。

この地方債発行額や元利償還金に対応して基準財政需要額が加算されることで交付税が増えるということなので、しかしながら、この交付税の措置額が100パーセントではないというところにやっぱり注意が必要だと思います。何が何でも起債で賄おうとすると財政運営が厳しくなることをきっちりと申し添えたいと思っています。

ただ、今は町債の残高が減りつつある中では大丈夫だと思いますが、これから大型公共投資を進めていく中で推移を見守っていききたいなと思っています。

令和6年度の決算ではこの残高が72億7,000万円ということなので、今後も、今年度決算、3月末を終えてもやっぱりこういうふうになる傾向にあるのか、その点を教えていただきたいと思っています。歳入面では以上です。

歳出のほうでは10ページ、11ページの土木費のところ、先ほど言いました社会資本整備総合交付金事業の約1億5,000万円、その下の防災・安全の事業で1億3,000万円のうち1億円が西大路鎌掛線の道路改良工事に使っただけということなので、大変ありがたく感謝申し上げたいと思います。

お正月に地元の西大路でこの話をさせてもらっていて、やっぱり年配の人からは「いつ道路つくねやろ」「使えんねやろ」という声が上がってきています。「私が生きているうちに完成はできるのか」という話もさささやかれている現状なのです。一刻も早く完成を願うばかりです。

今回2つ、要するに今までの従来の工事と新たに日野川に架かる橋台の工事からということで同時に進むこととなりますが、どのような工事になるのかというのと、今心配しているこの物価高、当初の橋梁に5億円ぐらいかかるというのをお聞きしていたんですが、本当に何か今回の橋台だけで1億5,000万円と見ていますと、こんな5億円でとてもできへんなどとも思ってしまいます。この工事費の上昇度合いというのはどうなのでしょう。その点、分かる範囲で教えていただきたいと思っています。どのような工事になるのかというのと、今の工事費の上昇度合いを踏まえて、どのように進めていこうとされているのか、お聞かせ願いたいと思います。

議長（杉浦和人君） 8番、山本秀喜君の質問に対する当局の答弁を求めます。

建設計画課長。

建設計画課長（杉本伸一君） 山本議員より、議第94号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第7号）についてご質問いただきました。基本的には町道西大路鎌掛線についてということかと思っております。

まず、歳入のほうでございます。7,500万円が割り当てられた経過というところ
でございます。こちらにつきましては、議長のほうからも1つ提案を頂きまして、
今まで道路の整備ということで鎌掛のほうから道路整備をしておりましたが、橋梁
のほうからも着手ができるのではないかというようなことで提案も頂きまして、町
のほうで、橋梁には事業費が非常にかかるということになりますので、そういう部
分の個別補助的なものできないかというようなところで県のほうに相談をさせ
ていただいたところです。

しかしながら、そういう新しいメニューというのはまだできていないところでご
ざいますので、県と協議した結果、社会資本整備総合交付金のほう、防災・安全で
はないほうのメニューでやってはどうかということで提案を頂きまして、そうい
うような中で年末に国のほうにも要望に行きまして要望させていただいた結果、補正
予算の要望時期とも要望した時期が重なったということもありまして、その結果
に基づいて今の補正に間に合うような形で割当てがついたということでございま
す。

歳出のほうでございます。西大路鎌掛線の、どのような工事になるかというところ
でございます。橋梁の工事につきましては、日野川に架かる橋の下部工というこ
とで、日野川の左岸側、西大路鎌掛でいいますと鎌掛側の橋台を造る工事にこの1
億5,000万円がかかるかなというふうに見込んでおります。今後、通常の新年度の
予算と併せて対策のほうをしていきたいというふう考えております。

残りの1,000万円につきましては、今現在、日野川ダムグラウンドの公園のとこ
ろのほうで、今、鎌掛のほうから道路整備を進めているところでございます。その
工事を延ばしていきたいなというふうに思っております。

しかしながら、あそこにつきましては青葉台さんからの出入りのある、進入路の
ある交差点、道が上がるような形で交差点を造る形になりますので、山側を掘削の
ほうをさせていただいて、できるだけ通行止めの期間が短くなるような形で工事の
ほうを進めてまいりたいというふう考えております。

今後の物価高騰の影響というところでございます。橋梁のほうにつきましては、
当初5億円ぐらいの事業費で見えておりましたが、今の試算でいきますと8億円ぐら
いになるのではないかなというふうに思っております。土木の人件費等につきまし
ては、以前に比べて1.5倍ぐらいの増というふうになっております。今後はコンク
リートの費用等もまた値段が上がるというようなことを聞いておりますし、全ての
ものが値上がりしているような状況になっておりますので、事業費がやはり大きく
上がってくるのかなというところも思っております。

上がるものにつきましてはなかなか防げないところではありますが、適正な形で
積算させていただくということもおりますし、できるだけ早く工事が進むような

形で研究のほうをしてみたいと思っております。

議長（杉浦和人君） 総務主監。

総務主監（吉澤利夫君） 山本議員から、議第94号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第7号）につきまして、財政面から質問いただきました。私のほうからは3点のお答えになるかなと思いますが、お答えをさせていただきます。

まず、1点目でございます。財政調整基金のほうが繰戻しできるのかと、こういうふうなご質問でした。

今回の補正につきましては、283万1,000円ということで追加で取崩しをさせていただいて今回の経済対策等の事業に充てさせていただくと、こういったものでございます。現在、今年度の3月補正の積算、査定をしている状況ですので、まだ確定ではございませんけれども、現在の状況を見ておりますと、やはり歳入の伸びでありますとか支出の思っていたところの減少でありますとか、そういったことを勘案いたしますと、今年度につきましては財政調整基金の繰戻しは3月にはできるものと、このように想定しております。

続きまして、令和7年度の基金の積立金のほうはどうかと、こういうことでございます。

財政調整基金につきましてはおおむね12億円ということで繰戻しをさせていただきまして、その水準、基準につきましては維持させていただこうと、このように考えております。それ以外の部分でございます。特に特定目的基金の積立てでございます。こちらのほうにも、現段階での、先ほども申しあげました収入の伸びと支出の思っていなかった減少とかそういったものがございましたので、特定目的基金にも少し積立てをできるのではないかなと、現在このような見込みを立てまして補正予算に取り組んでいるところでございます。最終的な結果につきましてはまた3月の補正予算のほうでご議論いただきたいと思いますと思いますが、現在そういう見込みを立てているということでございます。

あと、町の地方債の残高の傾向ということでございます。

現在、議員おっしゃいますように、これまで、ここ数年は減少してきているところでございます。こちらにつきましても、令和6年度から7年度につきましても減少するというふうな、このような予測をしております。こちらのほうにつきましては、議員おっしゃいますように、算入率が100パーセントでないということで、必ず借りたお金が全額交付されるものではございませんので、こういうところも一定考慮しながら適正な借入れをさせていただきまして、できるだけ財政運営を的確にできるような形で進めてまいりたいなど、このように思っております。

議長（杉浦和人君） 山本秀喜君。

8番（山本秀喜君） 再質問の前に、今の財政状況の件はおおむねいい感じで進んで

いるかなというふうに思わせていただきました。また3月の補正の状況を確認させていただきたいと思います。

もう1点の、社会資本整備総合交付金事業の、先ほどの工事費の高騰といいましょうか、そういう高騰に伴って、やっぱり交付金もそれに係る分アップされるものだと思っているんですけども、交付金の金額がおよそ決められていて、工事費が高騰すれば、逆に工事の進む区間が短くなるんじゃないかなという心配もあるんですが、その交付金のつき具合ってどうなんでしょうか、その点ちょっと再質問としてお聞きさせて下さい。

議長（杉浦和人君） 建設計画課長。

建設計画課長（杉本伸一君） 山本議員から再質問を頂きました。交付金のつきの状況はということです。

工事費が上がると交付金の割当ても増えるかというところとそういうわけではなくて、なかなか町が要望した額についての交付というような状況でございます。しかしながら、日野町への道路の交付率というのは、近年、西大路鎌掛線につきましては100パーセントということで、町が要望した額の100パーセントついているような状況がありますので、今後も県と協議しながら、交付率については100パーセントを継続いただけるように進めていきたいと考えております。

議長（杉浦和人君） 山本秀喜君。

8番（山本秀喜君） 今も努力していただいている結果であるかなと、100パーセントついているということなので。そういうことからすると、工事の進捗については順調に推移するかなと思わせていただきました。

片や橋梁側からも進むということなので若干早まるかなという思いもするんですが、今、完成年度15年とか言って、地元でもそこが話題になるんですが、その辺はどうでしょうか。15年ぐらいをめどにできるものなのか、もうとてもやないが、この物価高騰で遅れる、まださらにということもあるのか、その点のお考えを確認させて下さい。

議長（杉浦和人君） 建設計画課長。

建設計画課長（杉本伸一君） 山本議員より再々質問を頂きました。完了年度の見込みはというところでございます。

今回、橋梁のほうから進むことになりまして、その分で短縮ができるのではないかとこのところでございますが、令和15年に完成する見込みというところの中、建設計画で計画する中では、橋と道路と両方とする時期はどこかでやっていかないと15年には間に合わないというふうに考えておりましたので、それが実現できたということは非常に大きいかなというふうに思っておりますので、令和15年の完成に向けて1つ前に進んだかなというふうに思っております。

あと、今回、昨年度、西大路鎌掛線の計画の見直し、詳細設計を修正で見直しを
しましたので、そういったところで事業費を抑える検討もしておりますので、そう
いうような効果を生かしながら、令和15年、変わることなくというよりは、それよ
り早くなるように、物価高騰の影響が出て15年には完成できるように今現在取り
組んでいるようなところでございます。

議長（杉浦和人君） ほかに質疑ございませんか。

— な し —

議長（杉浦和人君） ないようでありますので、質疑を打ち切りたいと思いますが、
ご異議ございませんか。

— 異 議 な し —

議長（杉浦和人君） ご異議なしと認め、質疑を終わります。

お諮りいたします。

日程第3 議第94号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第7号）については、
委員会付託を省略し、直ちに討論を行い、採決いたしたいと思いますが、ご異議ご
ざいせんか。

— 異 議 な し —

議長（杉浦和人君） ご異議なしと認め、これより討論に入ります。

討論はありませんか。

— な し —

議長（杉浦和人君） ないようでありますので、討論を終わります。

これより採決いたします。

議第94号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第7号）について、原案のと
おり可決することに賛成の諸君の起立を求めます。

— 起 立 全 員 —

議長（杉浦和人君） ご着席下さい。

起立全員であります。

よって、議第94号、令和7年度日野町一般会計補正予算（第7号）については、
原案のとおり可決することに決しました。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

ここで町長より発言を求められておりますので、これを許可いたします。

町長。

町長（堀江和博君） 1月臨時会議の終わりに際しまして、一言ご挨拶を申し上げま
す。

議員の皆様方には、本日の臨時会議に提案いたしました議案について、慎重なる
ご審議を賜り、提案どおりご承認いただきましたことに厚く御礼を申し上げます。

ご承認いただきました補正予算について、各位より様々なご意見を賜り、有意義な議論をさせていただきましたこと、深く感謝を申し上げます。

補正予算を円滑かつ迅速に執行し、その効果が速やかにそれぞれに行き渡るよう、職員一同、全力を挙げて取り組んでまいり所存でございます。

また、このほどの衆議院議員総選挙をしっかりと適正に執行されるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

結びになりますが、議員各位のご理解とご協力を深く感謝申し上げますとともに、皆様の今後のご健勝を心よりお祈り申し上げます。大変冷え込みが寒い日が続いております。十分ご自愛いただきますことをお願ひし、1月臨時会議の終わりのご挨拶とさせていただきます。

どうもありがとうございました。

議長（杉浦和人君） 以上をもちまして本日の会議を閉じ、令和8年1月臨時会議を閉会いたします。

一同起立、礼。

— 起 立 ・ 礼 —

議長（杉浦和人君） お疲れさまでした。

— 散会 11時03分 —

地方自治法第123条の規定により署名する。

日野町議会議長 杉浦 和人

署名議員 錦戸 由佳

署名議員 中西 佳子